

日本百名山の花

奥白根山

シラネアオイ

奥白根山、通称日光白根山。この山には悲しい思い出がある。高校時代、同人誌「太陽」という文芸誌を発刊していた。三年生の頃には同人が百人を越え、二百部を発刊する組織になっていた。同人の言動には、学校側もマークする程影響力を持つようになっていたのである。二つ後輩にNさんという女性同人がいた。地元では有名な陶芸家の長女。大学に通うようになって、同人誌は続けら

れた。ある日、同人の主要メンバーから学生寮に電話があった。「Nさんが日光白根山で遭難した」と。その後、Nさんの追悼特別号を発刊した。東京に就職し、五月の連休に追悼登山をしようと計画。日光の湯元登山口から登った。遭難したのは厳冬期。五月でも最後の急登はかなりきつかった。こんな山に、厳冬期に登るとは。岩の散乱した頂上で、手を合わせて冥福を祈った。

深田久弥も又、日光の湯本から登っている。久弥は上州側から下ったが、私は金精峠に下り、小屋で一泊。翌日奥鬼怒温泉に下った。現在、日光白根ロープウェイがあり、中腹まで登る事ができ、日帰りの山になった。山頂駅の花壇には、六月頃白根山ゆかりの花、シラネアオイが咲乱れている。これは、座禅山の斜面にあった大群生地が、鹿の食害によって壊滅したため、地元

の有志が育てているもの。近くの一荒山神社付近には、天然のシラネアオイが残っている。高山植物とは思えぬ大きな花。淡いピンクの花のイメージが、Nさんを思い出す。

